

朝日新聞 Think キャンパス

大学の未来を共に考える「単位が取れない、悩む大学生が塾通い」朝日新聞 2026 年 8 月 1 日

『学級会や日直、日本型教育』ユネスコとアフリカ普及へ連携

<はじめに>

熊本大震災でお亡くなりになられた方々の、ご冥福をお祈りいたします。

被害にあわれた皆様に心から御見舞い申し上げます。

一日も早い復旧を、心からお祈りいたします。

1. 朝日新聞 2026 年 8 月 1 日、<大学の未来を共に考える、Think Campus>は、参考になります。

<記事内容>

- (1) 「単位が取れない。悩む難関大学生が塾通い。塾が指摘する学生の『共通点』とは。
- (2) ○保護者の不安、学生の危機感から塾へ。
 - 何一退学することになったら、これまでの投資が全て無駄になってしまう。
 - 塾生の多くは年内入試で進学。
 - 特に数学系の授業では、出欠は関係なく期末試験だけで単位が取れるかどうかが決まることが少なくありません。
 - 年内入試の急増による影響がある。
 - 塾生が特に苦勞しているのが、数学の微分積分です。
- (3) ○塾代金は3科目以内で、毎月5万円～7万円。
 - 3科目以内であれば、授業料は、月4回の90分授業で、52800円。
 - 120分授業で7万400円(入会金、管理費別)。
 - ただ中には、5科目以上のサポートが必要なケースもあり、その場合は、倍以上の経費が掛かることもあります。
- (4) ○年内入試は、合格後から入学までの期間の過ごし方がわれる時代になっていると思います。

(太線部分のみ、書き抜かせていただきました。林明夫)

2. 『一を聞いて、十を知る！』
『翻訳能力を、働かせよう！』

3. (1) これは、年内入試がもたらす新しい「社会的課題」です。
- (2) このような「新しい社会的課題」「新しい需要」にどうこたえるか。
- (3) 塾生減少、売り上げ減少の中で、極めてありがたい需要と考え、「できることは何でも行う」の精神で、「商機(ビジネスチャンス)」としてまいりましょう。どんどん実行を！！
4. (1) ○年内入試修了者への「特別指導」を今年からスタート。
- (2) ○大学入試だけではなく、推薦入試で入学が決まった高校入試・中学入試合格者への「特別指導」も、今年からスタートといたしましょう。
- (3) ○「目を皿のように、特別指導」の可能な教育サービスを探すことも、学習塾経営では欠かせません。

2026 年 8 月 2 日(日)